

第2回千葉県資源評価検討会議 会議録

- 1 開催日時 平成27年8月24日(月) 午後1時30分～3時00分
- 2 開催場所 千葉県庁南庁舎別館1階 第3会議室
- 3 出席者 14名(うち構成員3名) ※別紙出席者名簿参照
- 4 検討事項

- (1) 千葉県資源評価対象種について
- (2) その他

5 検討事項の概要及び検討の結果

第2回会議では千葉県資源評価対象種及びその他で資源評価基準についての検討を行った。検討結果は以下のとおり。

(1) 千葉県資源評価対象種について

平成27年度千葉県資源評価対象種(案)について、事務局から説明を行い、構成員及び出席者から意見を伺った。

- ・スズキの資源評価情報が△(資源評価が困難)である理由をあらためて説明願いたい。(構成員)
- ・スズキについて調べたところCPUE等の情報があつたが、どの情報が資源量指標として適当か慎重に検討する必要があるため、現時点では△とした。(事務局)
- ・資源評価の可否の総合判断が△(平成28年度以降実施を検討)である魚種について、今後どのような取扱いとなるのか?(構成員・水産事務所)
- ・魚種毎によって同じ△でも状況が異なり、スズキ、アサリは来年度評価を実施する可能性が高く、クルマエビ、マアナゴ及びマダコについては、情報の一部不足や整理検討が必要なため、来年度評価を実施出来るか現時点では判断できない。(事務局)
- ・アサリについては資源評価に必要なデータが揃っているため、来年度評価出来るよう検討を進めていきたい。(水産総合研究センター(以下、「水総研」とする。))
- ・資源評価情報の面からスズキ、アサリは評価が出来る可能性が高いが、クルマエビとマアナゴは現在漁獲がほとんどなく標本船の設定も困難なため検討に時間がかかる。(水総研)
- ・水総研の回答内容に概ね同意である。また、クルマエビの種苗放流の規模によっては

優先度を上げる必要があるのではないか。(構成員)

- ・千葉県第7次栽培基本計画により、クルマエビは現在の放流数から、他の新規魚種の技術開発の状況によっては量を減らすことも検討されており、優先度が過去に比べて落ちている。(議長)
- ・総合判断で○(資源評価を実施)が付いているが、一方で資源評価情報が△であるものの取扱いについて、今後情報区分が○(資源評価が可能)となるようにデータ収集を進めるのか?(構成員)
- ・該当するチョウセンハマグリについては、当面は漁獲量を指標とする見込み。(事務局)
- ・CPUE等のデータについて収集が困難であることから、別途開発を進めている面積密度法による推定資源量を資源量指標として検討していく。(水総研)
- ・資源量指標となる1隻あたりの漁獲量の収集が困難であれば、漁協単位又は経営体単位でも良く、重要資源であれば漁獲量から評価していくことも大切である。(構成員)。
- ・他県で漁獲量のみ又は面積密度法で資源評価を行っている事例はあるのか?(事務局)
- ・宮城県ではアカガイとホッキガイについて年級群別までではないが、面積密度法で資源評価を行っており、データの蓄積期間は長くない。(構成員)
- ・茨城県では千葉県で開発を進めている面積密度法によるチョウセンハマグリは資源評価を行っている。(水総研)
- ・アワビ類についてはクロアワビとメガイアワビそれぞれでデータを収集しているが、資源水準及び動向が異なるため、全体での評価は困難である。(水総研)
- ・実際の資源評価を行う上で、必ずしも全体の評価を行う必要は無く、アワビ類のように種類別に情報を収集している場合には種類毎に評価を、キンメダイのように漁場が離れていれば漁場毎の評価を行えば良い。(構成員)
- ・この資源評価の取組みは今年度から始めたことから、評価した結果、区分を変える必要があれば次年度以降に結果を踏まえて変えていくなど検討していきたい。(事務局)

(2) その他について

事務局から「千葉県資源評価検討会議における資源評価基準」の修正案について説明を行い、構成員及び出席者から意見を伺った。

- ・千葉県資源評価検討会議における資源評価基準の修正案について、対象魚種の選定及び資源評価を年1回だけで実施するよう見える。(議長)

- ・別々に実施する予定なので表現はわかりやすいように検討する。(事務局)
- ・資源評価の対象魚種について全て毎年度改めて検討するのか？(構成員)
- ・利用実態や資源状況等の変化により対象の有無を検討する必要があるため、一度対象となった魚種も含めて検討することとなる。(事務局)

第2回千葉県資源評価検討会議出席者名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
千葉県農林水産部水産局 漁業資源課	課 長	佐藤 喜雄	構成員 (議長)
千葉県水産総合研究センター	次 長 資源研究室長事務取扱	鈴木 広之	構成員
東北大学大学院農学研究科	教 授	片山 知史	構成員
千葉県農林水産部水産局 水産課	主 幹	岩崎 晶知	
館山水産事務所改良普及課	課 長	高山 敬介	
勝浦水産事務所改良普及課	課 長	藤元 香世	
千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所	主 幹	鈴木 達也	
千葉県水産総合研究センター 資源研究室	主席研究員	石井 光廣	
	上席研究員	加藤 正人	
	研 究 員	中丸 徹	
	研 究 員	中川 雄太	
千葉県農林水産部水産局 漁業資源課資源管理班	班 長	永野 歩	事務局
	副 主 査	鈴木 克彰	事務局
千葉県農林水産部水産局 漁業資源課栽培漁業班	技 師	田村 康	